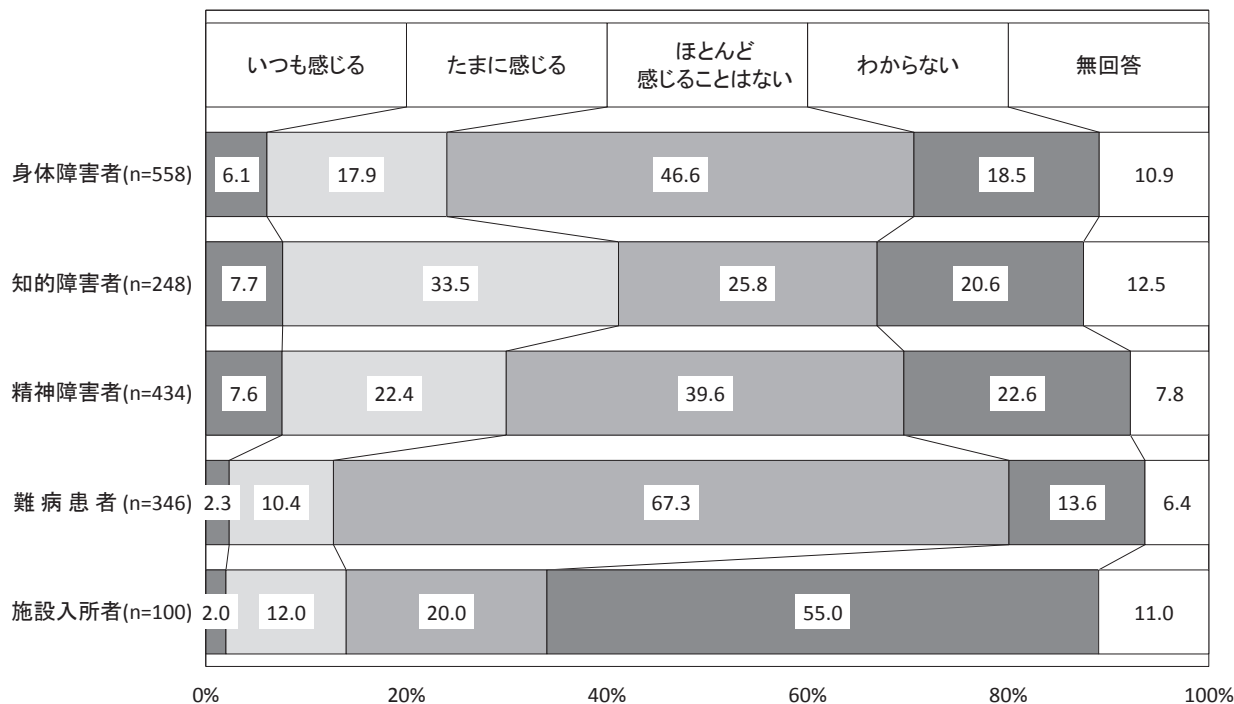


## 12 権利擁護について

### (1) 差別や人権侵害を受けていると感じること

#### ① 差別や人権侵害を受けていると感じることの有無

“差別や人権侵害を受けていると感じる”（「いつも感じる」「たまに感じる」の合計）は、身体障害者が24.0%、知的障害者が41.2%、精神障害者が30.0%、難病患者が12.7%、施設入所者が14.0%となっている。



#### 【前回調査との比較】

(単位：%)

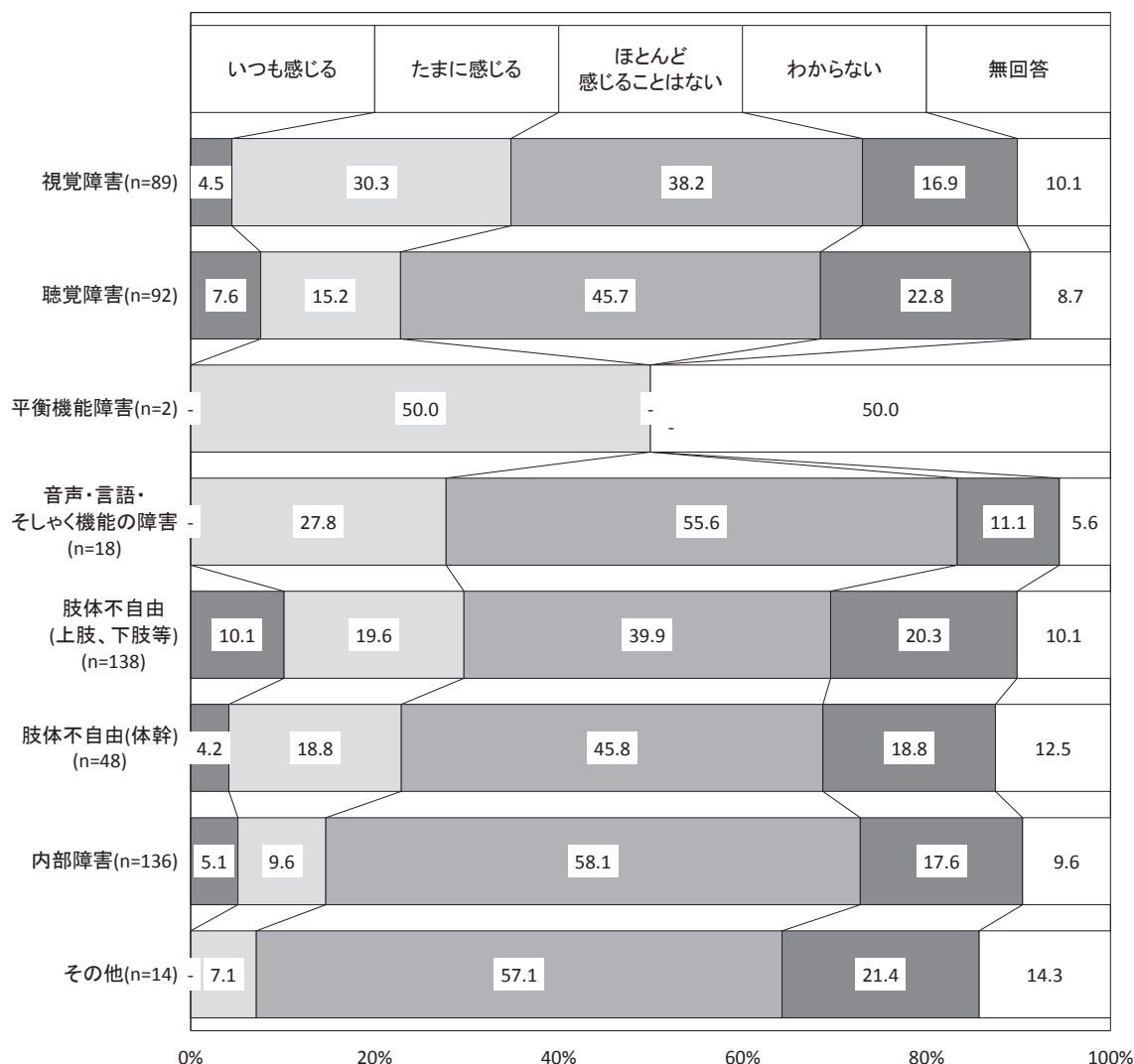
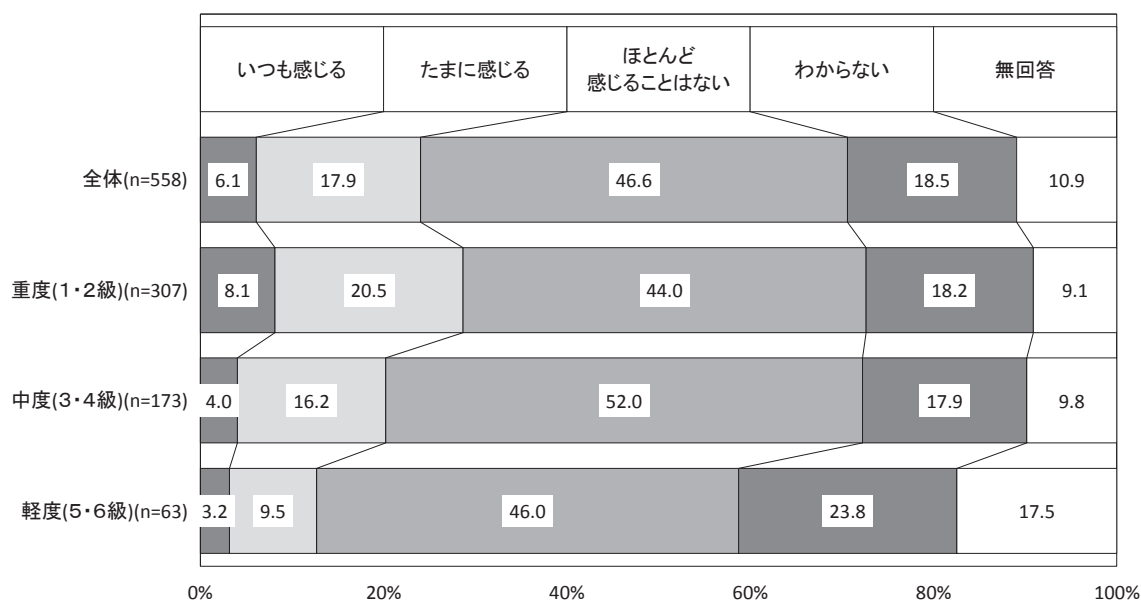
区分		1位	2位	3位
身体障害者	今回 (n=558)	ほとんど感じることはない (46.6)	わからない (18.5)	たまに感じる (17.9)
	前回 (n=2,064)	ほとんど感じることはない (52.9)	たまに感じる (19.5)	わからない (10.0)
知的障害者	今回 (n=248)	たまに感じる (33.5)	ほとんど感じることはない (25.8)	わからない (20.6)
	前回 (n=350)	たまに感じる (41.1)	ほとんど感じることはない (19.7)	わからない (19.1)
精神障害者	今回 (n=434)	ほとんど感じることはない (39.6)	わからない (22.6)	たまに感じる (22.4)
	前回 (n=311)	たまに感じる (39.2)	ほとんど感じることはない (27.0)	わからない (14.8)
施設入所者	今回 (n=100)	わからない (55.0)	ほとんど感じることはない (20.0)	たまに感じる (12.0)
	前回 (n=94)	わからない (50.0)	ほとんど感じることはない (22.3)	たまに感じる (19.1)

## 【身体障害者】

障害の程度別にみると、“差別や人権侵害を受けていると感じる”の割合が、障害の程度が重くなるにつれて高くなる傾向がみられる。

障害の種類別にみると、視覚障害、肢体不自由(上肢、下肢等)では、“差別や人権侵害を受けていると感じる”が多くそれぞれ34.8%、29.7%となっている。

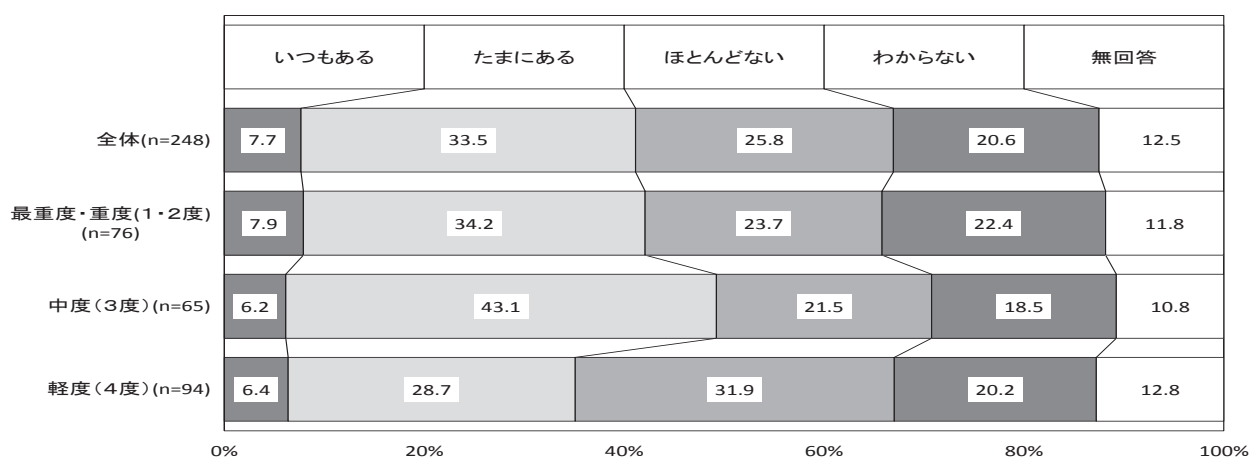
差別や人権侵害を受けていると感じること



### 【知的障害者】

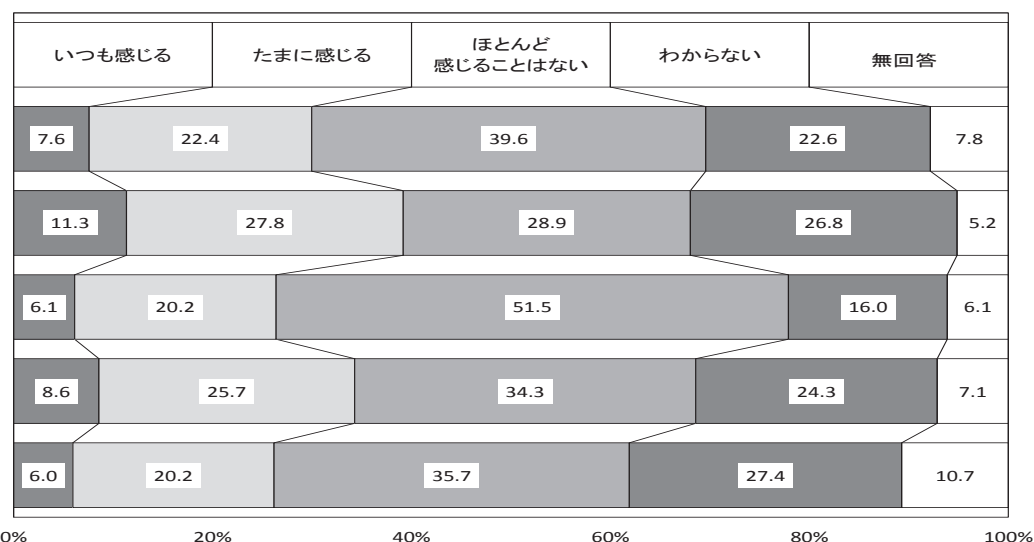
障害の程度別にみると、中度（3度）では“差別や人権侵害を受けていると感じる”が多く49.3%となっている。

差別や人権侵害を受けていると感じること



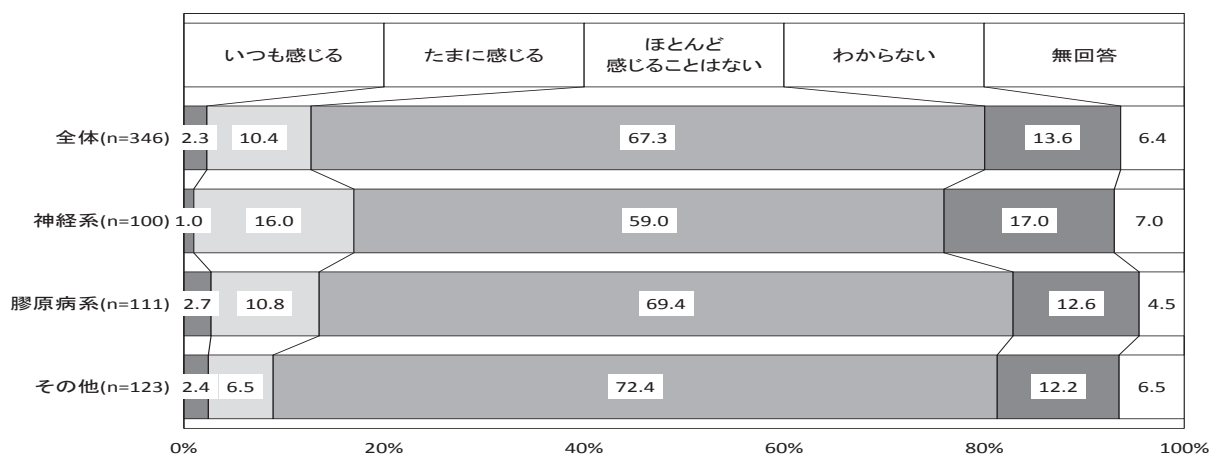
### 【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症と診断された人では“差別や人権侵害を受けていると感じる”が多く39.1%となっている。



### 【難病患者】

疾病系統別にみると、神経系では“差別や人権侵害を受けていると感じる”が多く17.0%となっている。



## ② 差別や人権侵害を受けていると感じるとき（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

### 【身体障害者】

- ・車イスのためバスなどに乗れない、次のバスまで待たされることがある。
- ・交通機関の利用時に障害者手帳の確認を求められる。
- ・公共の乗物で、嫌な顔をされる。
- ・障害用パーキングが少ない。
- ・建物の設備が整っていないと、車イスは裏通りを案内されたり見学できない展示物などがある。
- ・身体の事で、友達から嫌なことを言われた。
- ・ジロジロ無遠慮に見られる。
- ・仕事で差別的なことをいわれた。
- ・やたら幼稚にあつかわれる。一人でやりたくても障害があることで学校から許可がおりない。
- ・聞き返した時など、面倒くさがって、内容を教えてもらえない、無視される。
- ・障害児は保育園に入りにくい。

### 【知的障害者】

- ・公共の乗物で、嫌な顔をされる。
- ・混雑時に車イスでエレベーターを乗ると嫌な顔をされる。
- ・大人や子どもからいじめ・暴言を受ける。
- ・片言で話すと、何を言っているかわからないと言われる。自分の考え（思い）が伝わらない。
- ・幼い言葉使いをすると、軽蔑される。
- ・あいさつしようとするとう無視される。
- ・ジロジロ無遠慮に見られる。
- ・どうせわからない人だろうという目でみられる。
- ・支援学級へ通っている事の偏見、差別がある。
- ・障害児は幼稚園や学童クラブに入りにくい。

### 【精神障害者】

- ・職場や周囲で病気の理解が不十分。このためトラブルやパニックを起こすこともある。
- ・「うつ病などは単なる甘え」、「誰でもゆううつになるときはある」と言われる。
- ・会社で適切に評価されない。
- ・精神科以外の医療機関で、理解されていないと感じる。
- ・うつ病や自律神経失調症など目で見てわからない障害のため、他の人と同じ扱いを強いられる。
- ・うつ病と知り、あまり関わりをもたれなくなる。
- ・ジロジロ無遠慮に見られる。交通機関などで周囲の冷たい視線を感じる。

### 【難病患者】

- ・足が悪いので、仕事を平等に与えられない。
- ・症状を理由に解雇された。
- ・就職する時に不利、就労の場が少ない。
- ・難病のつらさが職場で理解されず、他の人と同じ仕事及要求される。
- ・ジロジロ無遠慮に見られる。周囲の冷たい視線を感じる。
- ・診察時、先生がつきそいの家族に話をし、自分には話さない。

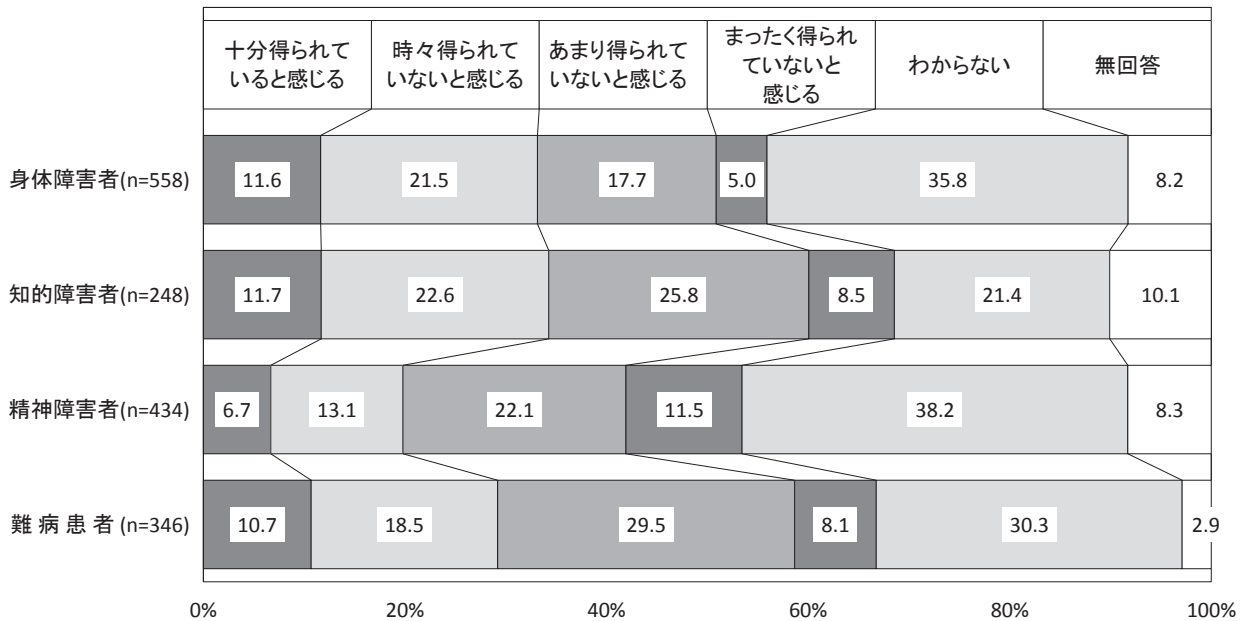
### 【施設入所者】

- ・公共の乗物で、嫌な顔をされる。
- ・悪口を言われたりする。
- ・ジロジロ無遠慮に見られる。周囲の冷たい視線を感じる。
- ・自分の思いが通じないとき。

## (2) 地域での障害に対する理解の感じ方

### ① 地域での障害に対する理解の感じ方

地域で暮らす上で、“障害に対して理解を得られていないと感じる”（「時々得られていないと感じる」「あまり得られていないと感じる」「まったく得られていないと感じる」の合計）は、身体障害者が44.2%、知的障害者が56.9%、精神障害者が46.7%、難病患者が56.1%となっている。



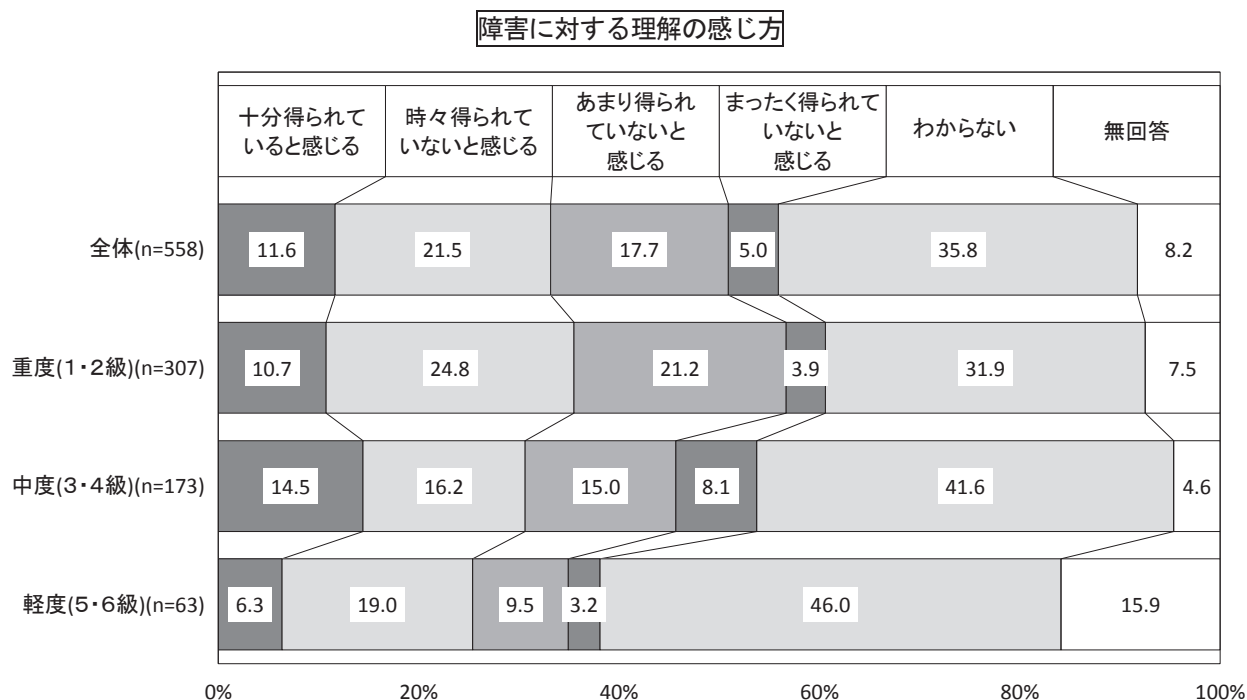
### 【前回調査との比較】

(単位：%)

区 分		1 位	2 位	3 位
身 体 障 害 者	今 回 (n=558)	わからない (35.8)	時々得られていないと感じる (21.5)	あまり得られていないと感じる (17.7)
	前 回 (n=2,064)	わからない (30.2)	十分得られていると感じる (17.7)	時々得られていないと感じる (15.1)
知 的 障 害 者	今 回 (n=248)	あまり得られていないと感じる (25.8)	時々得られていないと感じる (22.6)	わからない (21.4)
	前 回 (n=350)	わからない (28.9)	時々得られていないと感じる (20.3)	あまり得られていないと感じる (18.6)
精 神 障 害 者	今 回 (n=434)	わからない (38.2)	あまり得られていないと感じる (22.1)	時々得られていないと感じる (13.1)
	前 回 (n=311)	わからない (33.1)	まったく得られていないと感じる (19.9)	あまり得られていないと感じる (17.0)

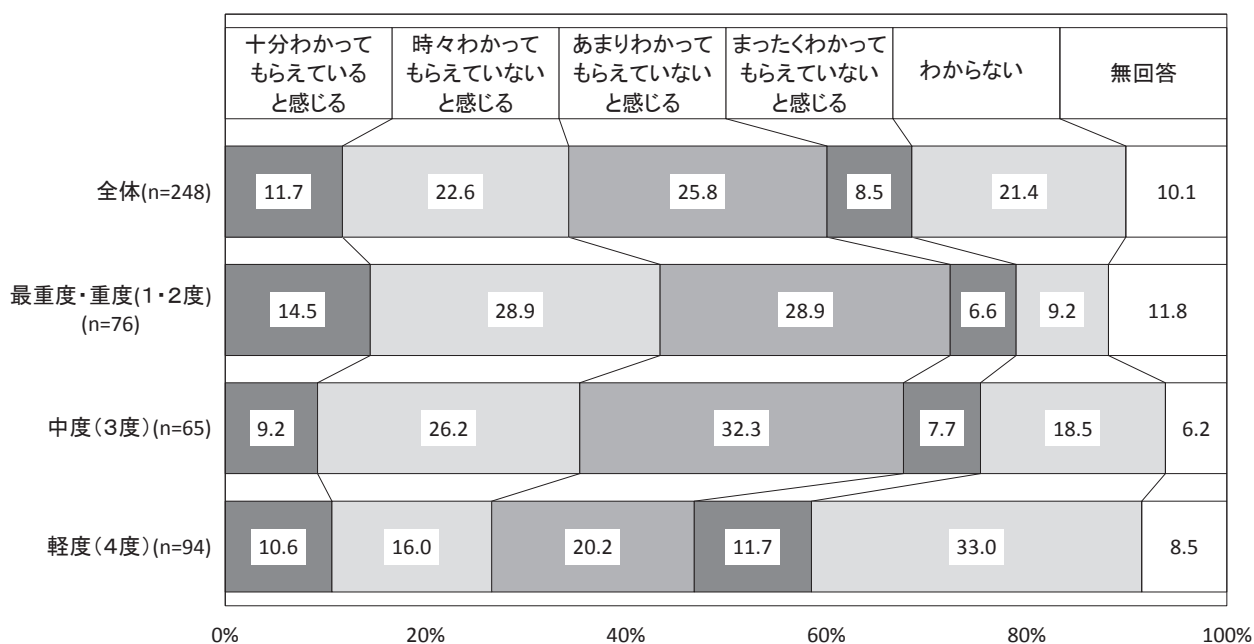
### 【身体障害者】

障害の程度別にみると、“障害に対して理解を得られていないと感じる”割合が、障害の程度が重くなるにつれて高くなる傾向がみられる（それぞれ、軽度が31.7%、中度が39.3%、重度が49.9%）。



### 【知的障害者】

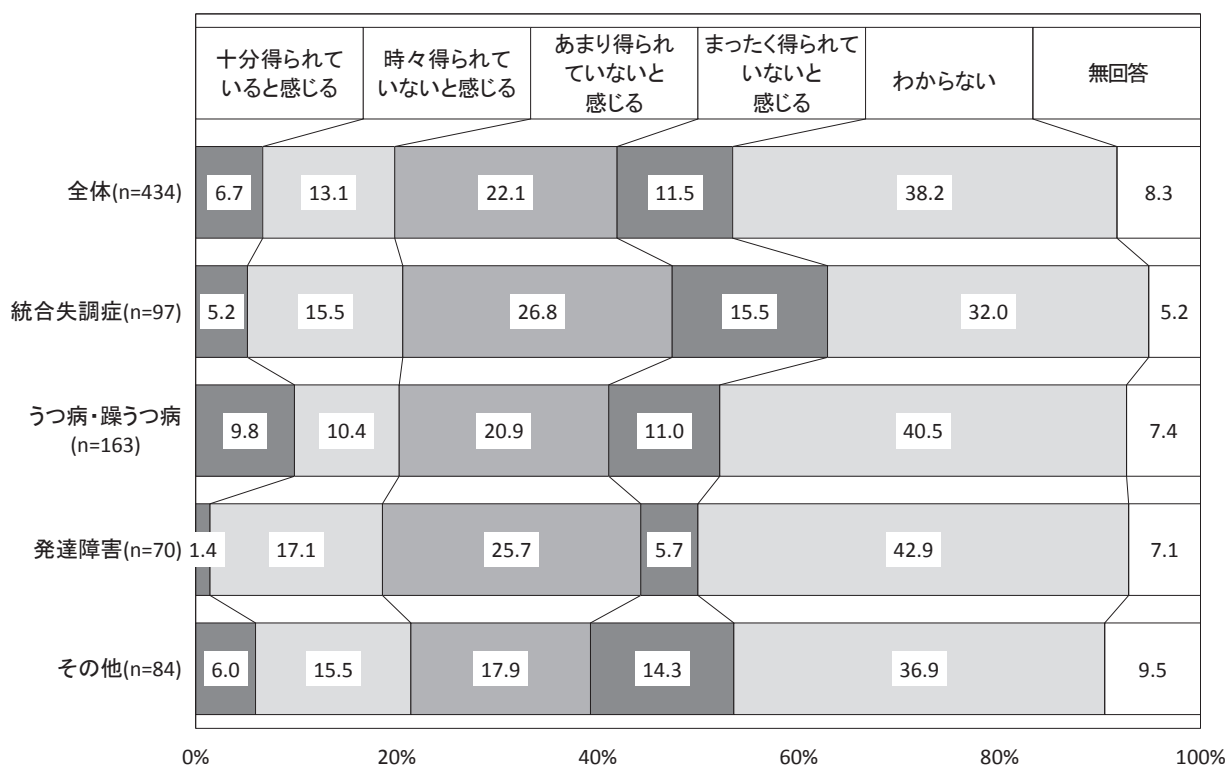
障害の程度別にみると、中度（3度）では“障害に対して理解を得られていないと感じる”割合が高く66.2%となっている。



### 【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では“精神疾患に対して理解を得られていないと感じる”が多く57.8%となっている。

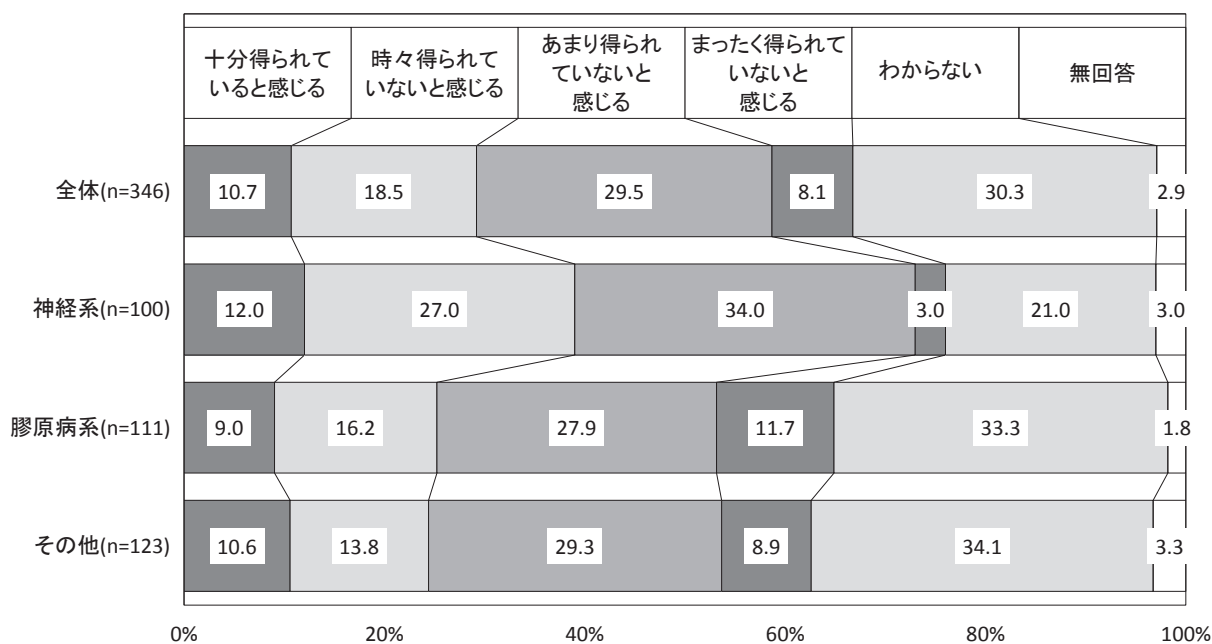
精神疾患に対する理解の感じ方



### 【難病患者】

疾病系統別にみると、神経系では“難病に対して理解を得られていないと感じる”が多く64.0%となっている。

難病に対する理解の感じ方



② 地域で暮らす上で、障害に対して理解を得られている、得られていないと感じるとき（自由回答）  
主な意見は、次のとおりである。

ア. 理解を得られていると感じるとき

**【身体障害者】**

- ・荷物を持ってくれたり、階段などで手をさしのべてくれたりする。
- ・話をもう一度とお願いした時、嫌な顔せず中にはメールや筆談などで返してくれる。
- ・自分の発音が不明瞭になった時、聞きなおしてくれる。
- ・車いすで外出する時、みんなが手つだってくれる。
- ・手話で話してくれる。
- ・病院の先生が母ではなく、自分に話してくれる。
- ・知らない方があいさつしてくれたり、声を掛けてくれたりしてくれる。

**【知的障害者】**

- ・道を歩いている時によけてくれたり、転んだ時に起こしてくれたりする。
- ・店に入ろうとすると店員さんがドアを開けてくれる。
- ・マンションの入口の扉を車椅子で通るとき、住人が介助してくれる。
- ・近所の人たちとあいさつをかわしたり、交流している時。
- ・交通機関利用時に、知的障害者ゆえにルールなど守れない時も、寛大にみってくれる。
- ・レストランやスーパー利用時も、あわてずゆっくり対応してくれる。
- ・道に迷った時、親切に福祉事務所に連れて行ってくれた。

**【精神障害者】**

- ・区の方々、他ボランティアの人が暖かく迎えてくれる。
- ・病名を言っても、嫌な顔をせず接してくれる。
- ・ずっと部屋にいと、周りの人が心配して声をかけてくれる。
- ・病院やカウンセリングの先生、福祉事務所の担当者が色々話を聞いてくれる。

**【難病患者】**

- ・通院のための休みが不自由なく取得できる。
- ・工作中助けられている。
- ・駅等混雑した場所で優先してくれる。
- ・乗物に乗った時に親切にしてくれる。



## イ. 理解を得られていないと感じるとき

### 【身体障害者】

- ・ 駐輪場の優先スペース利用のマナーが悪い。
- ・ 駅や周辺施設、生活環境がバリアフリーになっていない。障害者用トイレが少ない。
- ・ エレベーターなどで健康なのに譲らない人がいる。
- ・ 公共の乗物で、嫌な顔をされる。
- ・ お願いした時、面倒な顔をされる。
- ・ ジロジロ無遠慮に見られる。
- ・ 障害のためできないことがあっても、それを理解してくれようとしらない人たちがいる。
- ・ 見た目には分からないため障害のため、つらさなど理解されない。
- ・ 近所、地域の方との交流がとれない。

### 【知的障害者】

- ・ 話を理解してくれない。
- ・ ジロジロ無遠慮に見られる。
- ・ 目で見てわかりづらい障害のため、健常児と同じようになんでもできると思われる。
- ・ 公共の場や乗り物の中で周囲の目線が冷たい。
- ・ 仕事の指示など、障害に合わせてわかりやすく説明してもらえない事がある。

### 【精神障害者】

- ・ 精神疾患とは何か、どういう症状がでるのか、どう対処すればよいか全く知られていない。
- ・ 隣近所の主婦の方々の態度が変わった。
- ・ 近所の人からさげられる。
- ・ 外見で障害がはっきりと分からないため、引きこもっていると思われる。
- ・ 交通料金の割引が利用できるが、外見で障害者とは分かりにくく手帳を見せても、信じてもらえない。

### 【難病患者】

- ・ 原因がわからない病気は理解されず、つかれやすい病気を怠惰と判断される。
- ・ 周囲の人が気がつかないふりをする。
- ・ 外見でわからない、また知られていない病気なので理解が得られない。
- ・ 交通機関の乗り降りの時にいやな思いをする。
- ・ 職場で通院に対する理解がなく、休みにくい。

### (3) 障害および障害者への区民の理解を深めるために必要なこと（複数回答）

障害および障害者への区民の理解を深めるために必要なことは、身体障害者では「学校における福祉教育・人権教育を充実する」が最も多く 34.2%、次いで「障害への理解を深めるための広報・啓発を充実する」が 32.6%で続いている。

知的障害者では、「学校における福祉教育・人権教育をすすめる」が最も多く 42.3%、次いで「障害のある方の社会参加をすすめる」が 35.5%となっている。

精神障害者では、「精神疾患への理解を深めるための広報・啓発を充実する」が最も多く 42.9%、次いで「精神疾患のある方の社会参加のために支援を充実する」が 32.0%となっている。

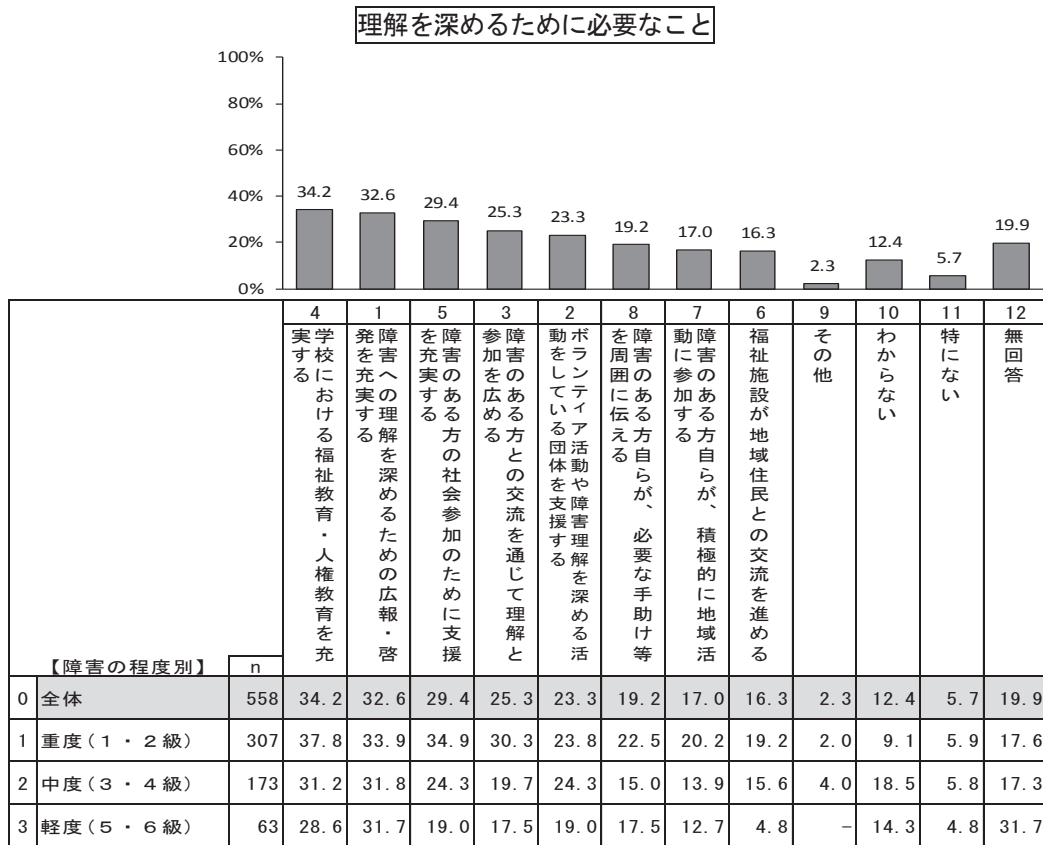
施設入所者では、「福祉施設が地域住民との交流をすすめる」が最も多く 40.0%、次いで「障害のある方との交流を通じて理解と参加を広げる」が 36.0%で続いている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	施設入所者 (n=100)
障害（精神疾患）への理解を深めるための広報・啓発を充実する	32.6（2位）	22.2	42.9（1位）	12.0
ボランティア活動や障害理解を深める活動をしている団体を支援する	23.3	23.8	24.0	10.0
障害（精神疾患）のある方との交流を通じて理解と参加を広げる	25.3	33.9	22.4	36.0（2位）
学校における福祉教育・人権教育を充実する	34.2（1位）	42.3（1位）	29.3（3位）	33.0（3位）
障害（精神疾患）のある方の社会参加のために支援を充実する	29.4（3位）	35.5（2位）	32.0（2位）	24.0
福祉施設が地域住民との交流を進める	16.3	30.6（3位）	14.5	40.0（1位）
障害（精神疾患）のある方自らが、積極的に地域活動に参加する	17.0	16.1	11.1	10.0
障害（精神疾患）のある方自らが、必要な手助け等を周囲に伝える	19.2	15.7	12.7	16.0
その他	2.3	6.0	5.1	2.0
わからない	12.4	16.1	13.1	30.0
特になし	5.7	5.6	8.8	4.0
無回答	19.9	10.1	10.6	8.0

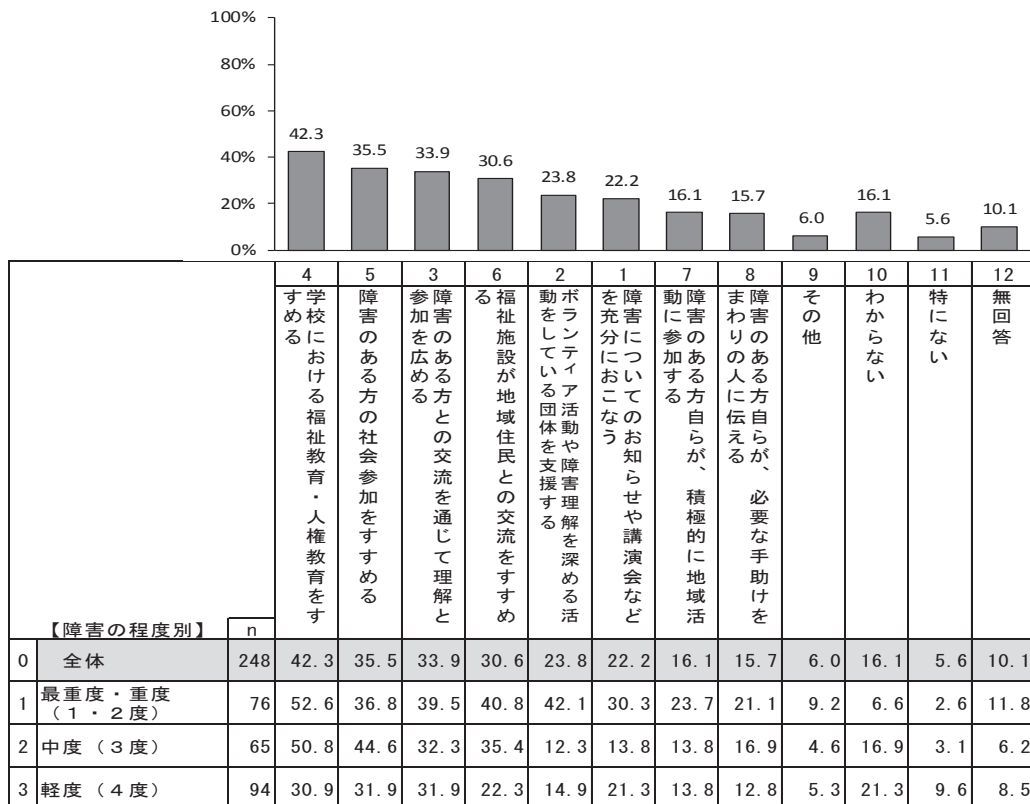
## 【身体障害者】

障害の程度別にみると、障害の程度が重くなるほど、おおむね各項目において必要と回答する割合が高くなっている。



## 【知的障害者】

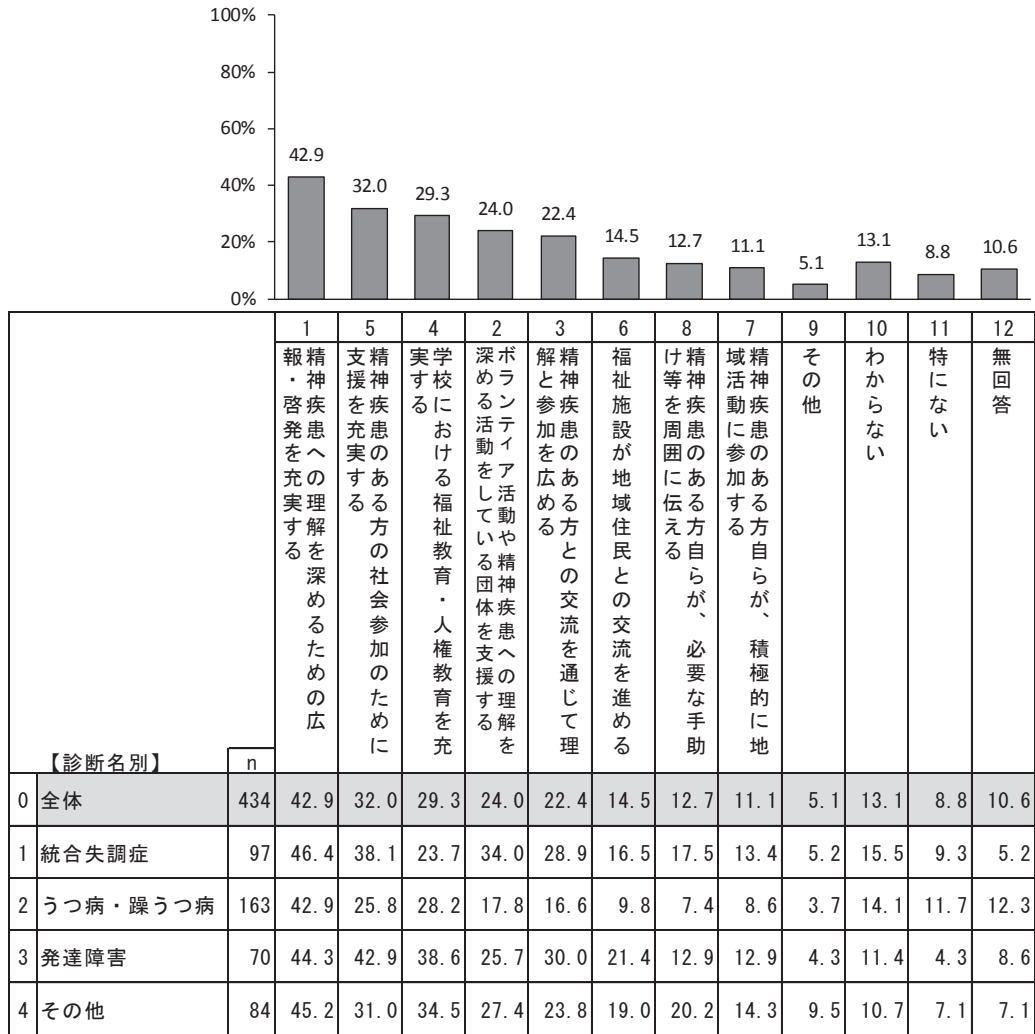
障害の程度別にみると、最重度・重度(1・2度)、中度(3度)では「学校における福祉教育・人権教育をすすめる」(それぞれ52.6%、50.8%)が最も多くなっている。



## 【精神障害者】

精神障害者の診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では「ボランティア活動や精神疾患への理解を深める活動をしている団体を支援する」（34.0%）、「精神疾患のある方との交流を通じて理解と参加を広める」（28.9%）が多い。発達障害と診断されている人では「精神疾患のある方の社会参加のために支援を充実する」（42.9%）、「学校における福祉教育・人権教育を充実する」（38.6%）が多くなっている。

理解を深めるために必要なこと



## 【難病および難病がある方への区民の理解を深めるために必要なこと】（自由回答）

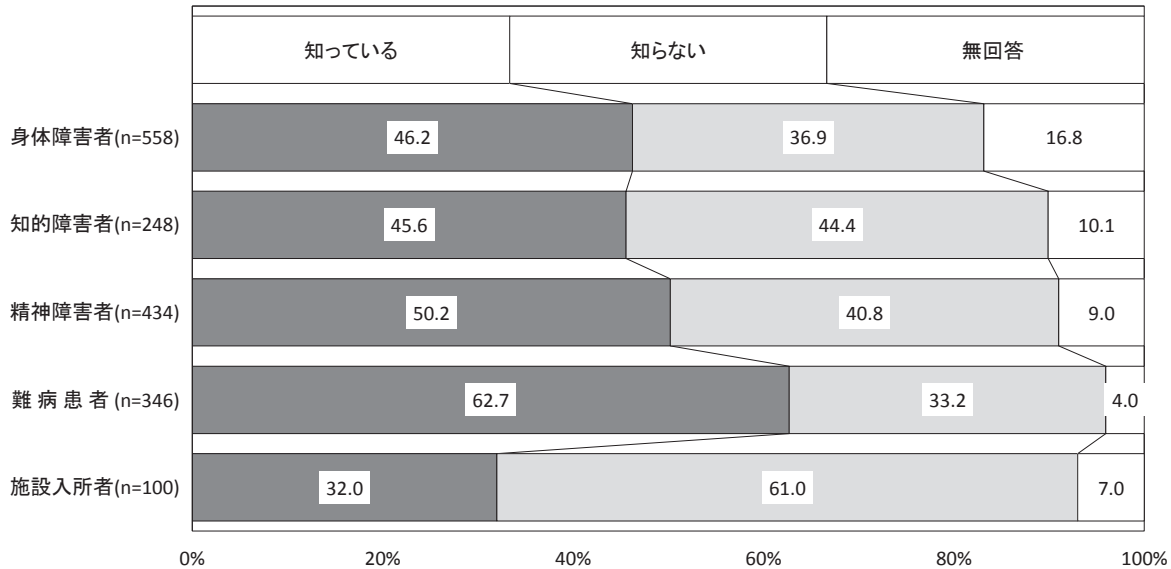
主な意見は、次のとおりである。

- ・ 難病についての情報提供の充実
- ・ 難病への理解促進策の充実
- ・ 健康な人と難病の人との交流の場の設置
- ・ 参加型の啓発イベントの実施
- ・ 難病についての経営者や職場の理解が進むこと

## (4) 成年後見制度

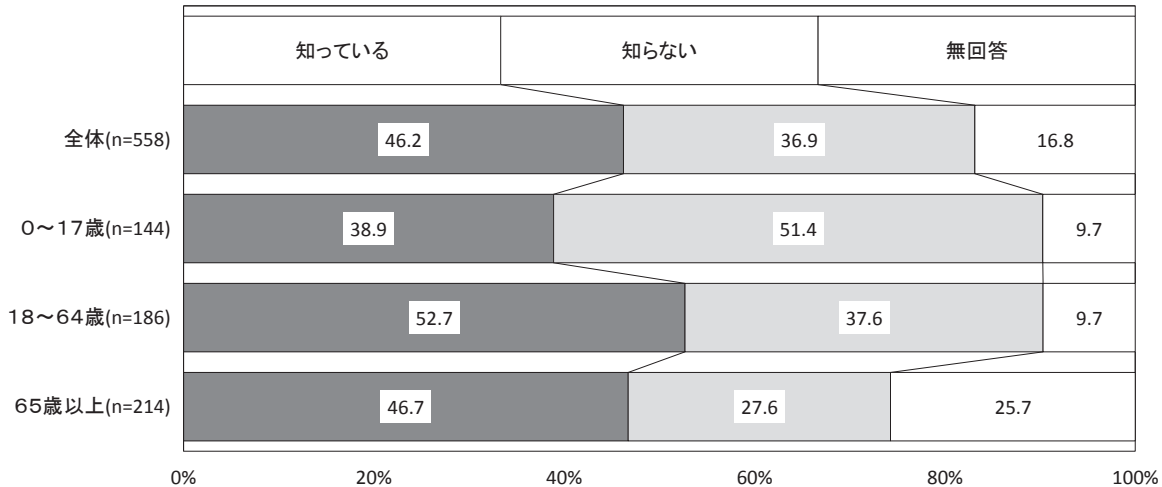
### ① 成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度は、「知っている」と回答した人は、身体障害者が 46.2%、知的障害者が 45.6%、精神障害者が 50.2%、難病患者が 62.7%、施設入所者が 32.0%となっている。



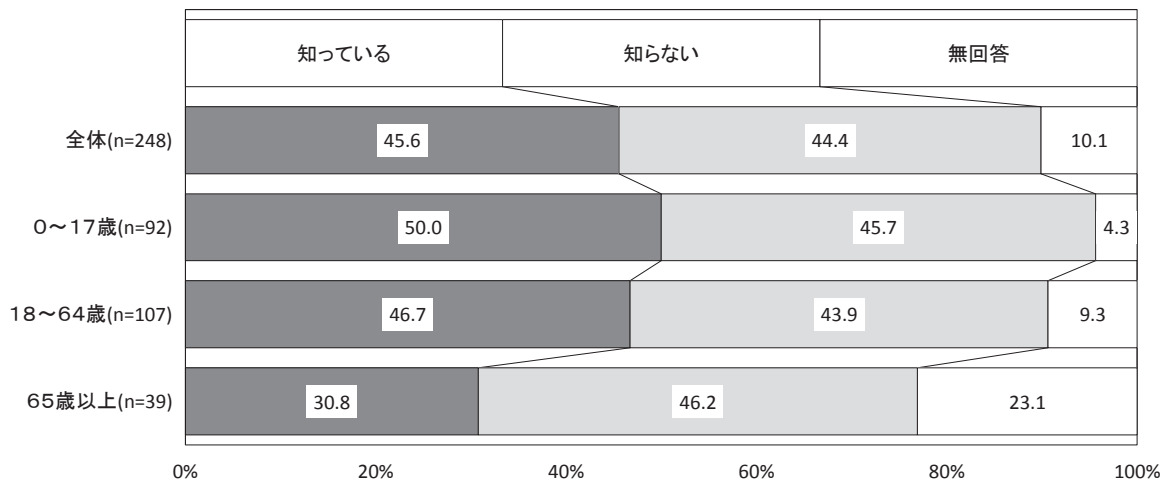
#### 【身体障害者】

年齢3区分別にみると、0～17歳では「知らない」(51.4%)、18～64歳では「知っている」(52.7%)が多くなっている。



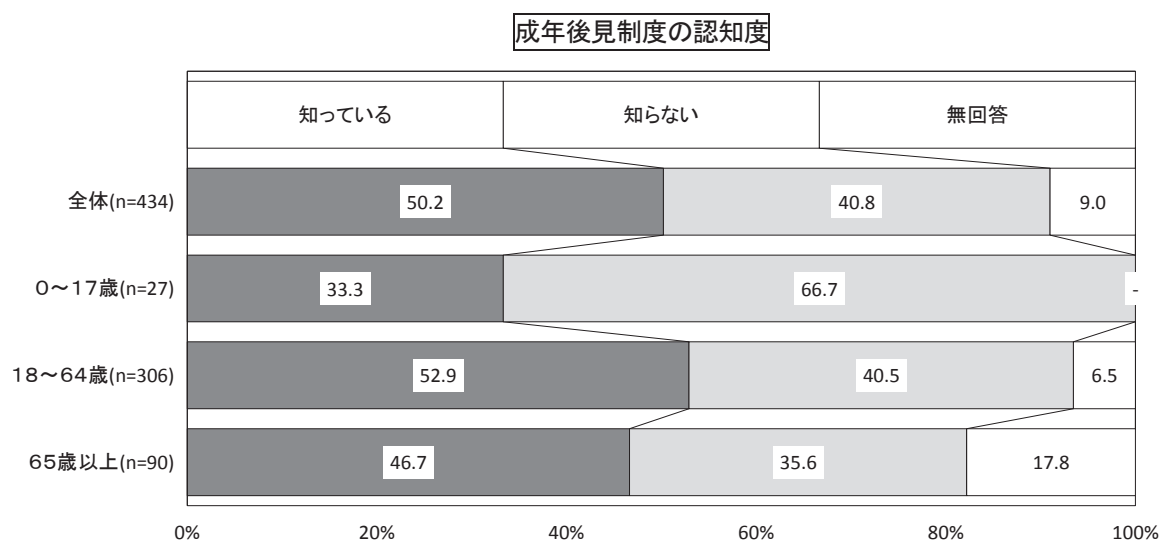
#### 【知的障害者】

年齢3区分別にみると、全体とほぼ同様の傾向を示している。



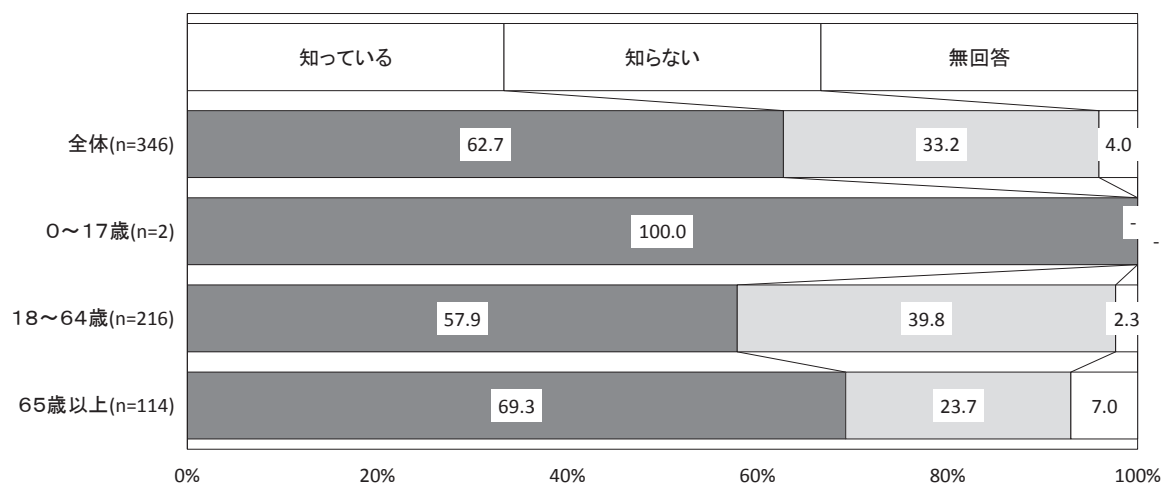
### 【精神障害者】

年齢3区分別にみると、18～64歳では「知っている」（52.9%）となっている。



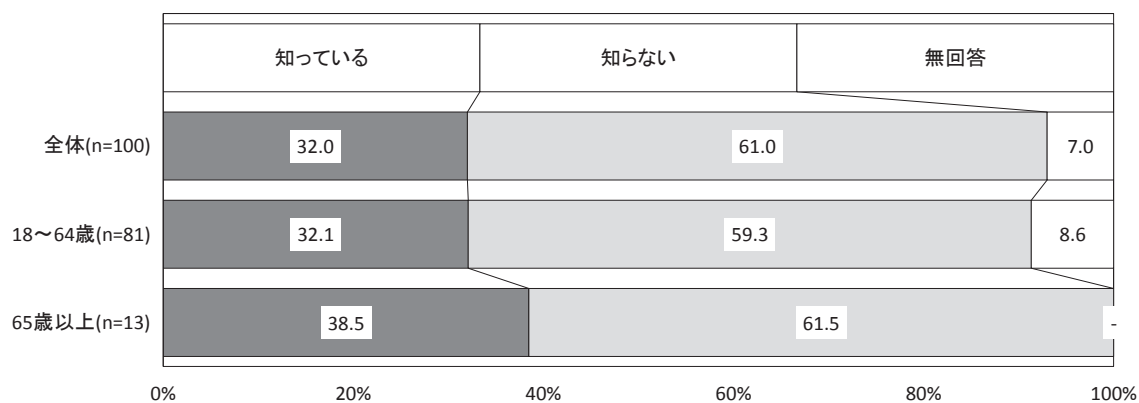
### 【難病患者】

年齢3区分別にみると、18～64歳では「知らない」が39.8%となっている。



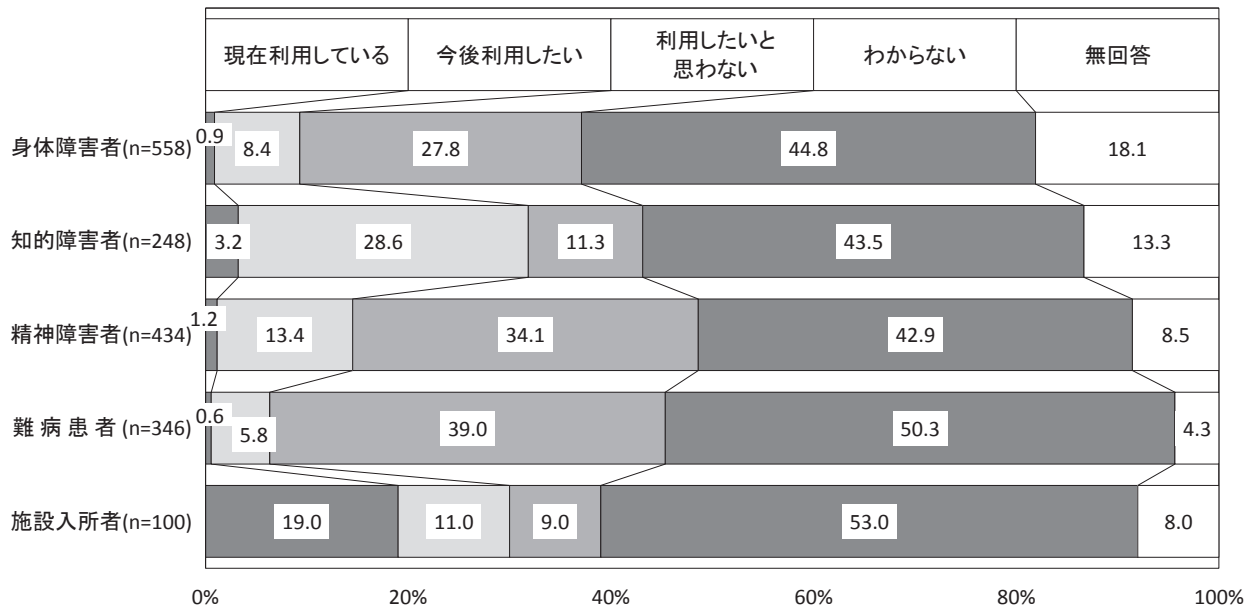
### 【施設入所者】

年齢別にみると、全体とほぼ同様の傾向を示している。



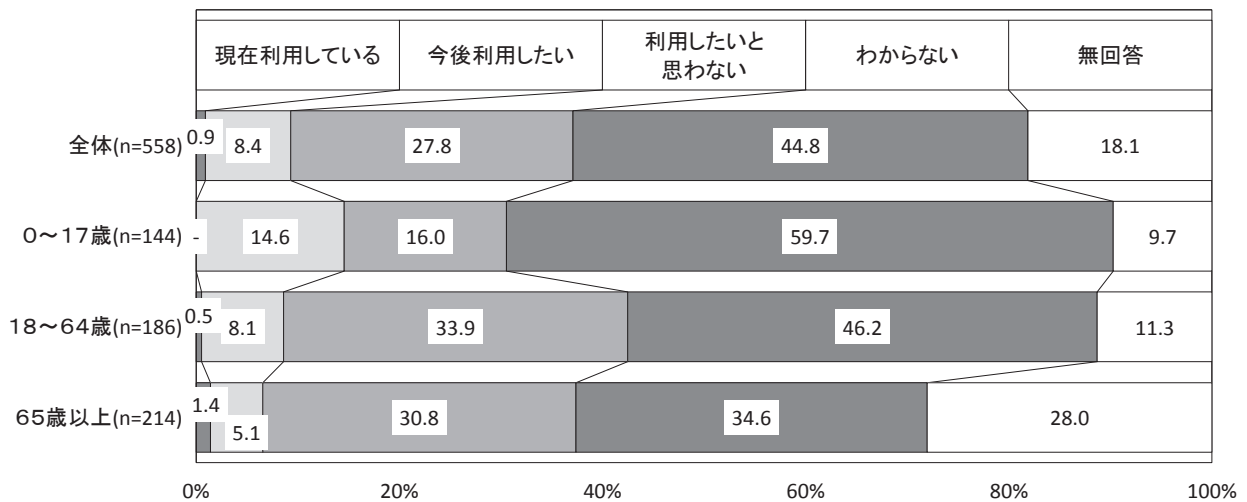
## ② 成年後見制度の利用意向

成年後見制度の利用意向では、いずれの障害でも「わからない」が4割強～5割程度を占めている。



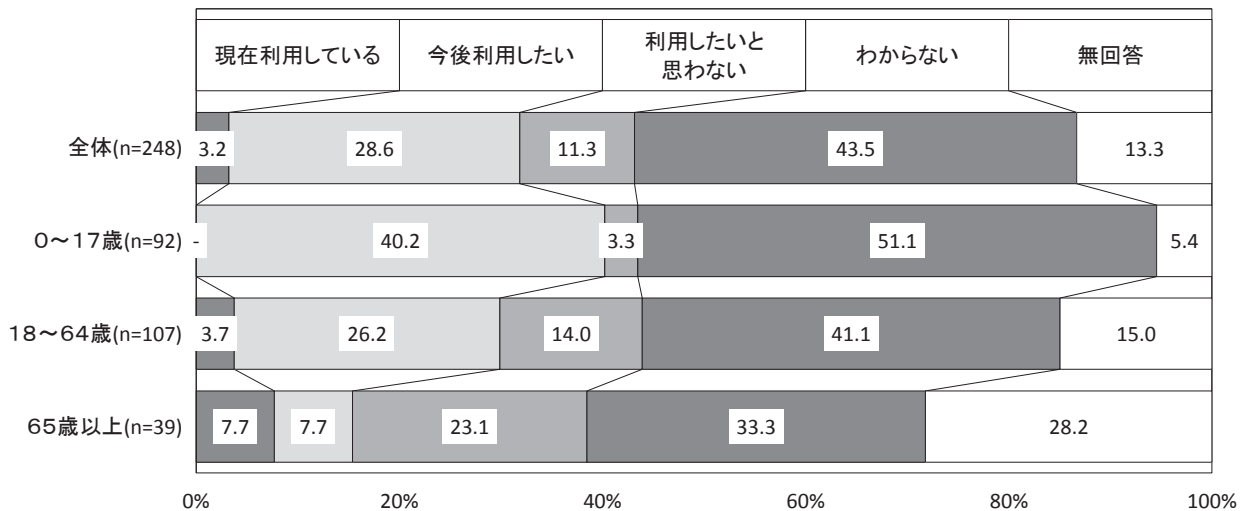
### 【身体障害者】

年齢3区分別にみると、65歳以上の34.6%が「わからない」と答えている。



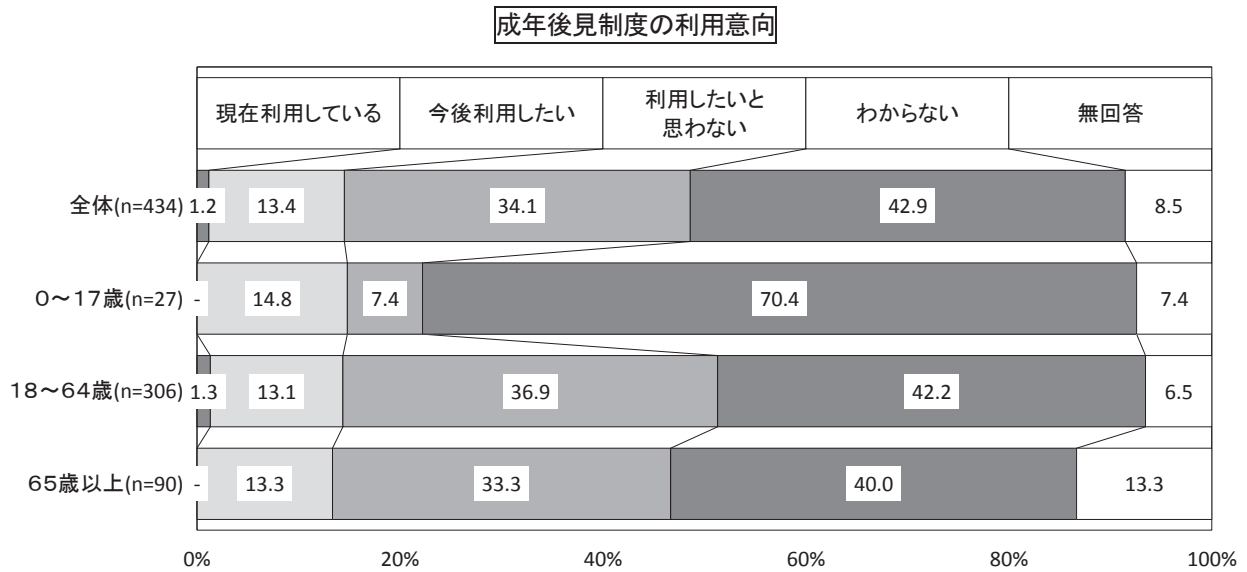
### 【知的障害者】

年齢3区分別にみると、0～17歳では「今後利用したい」（40.2%）、65歳以上では「利用したいと思わない」（23.1%）がそれぞれ多い。



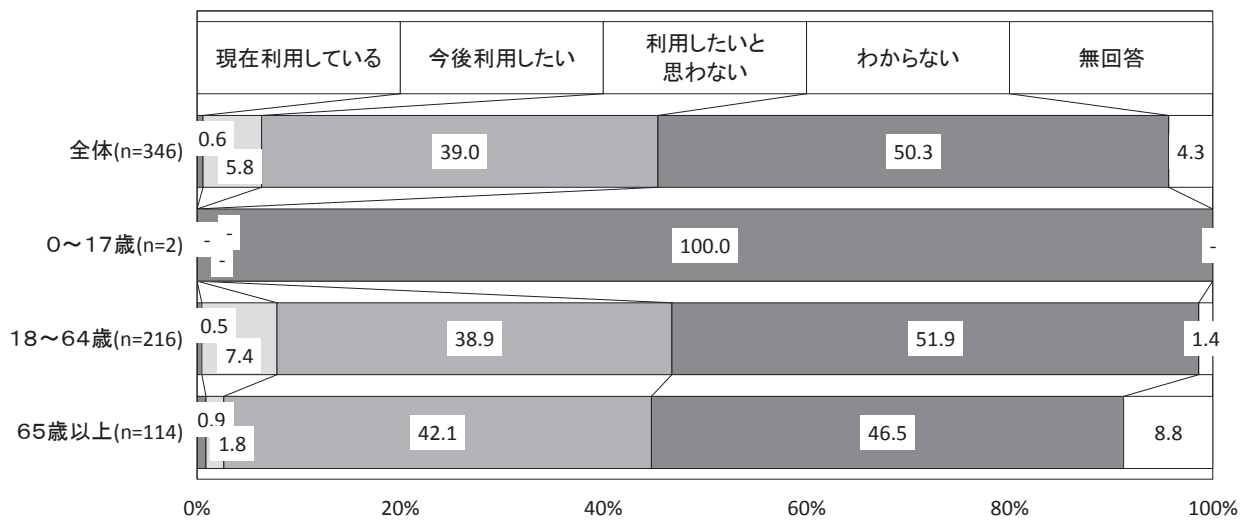
### 【精神障害者】

年齢3区分別にみると、65歳以上では「利用したいと思わない」が33.3%となっている。



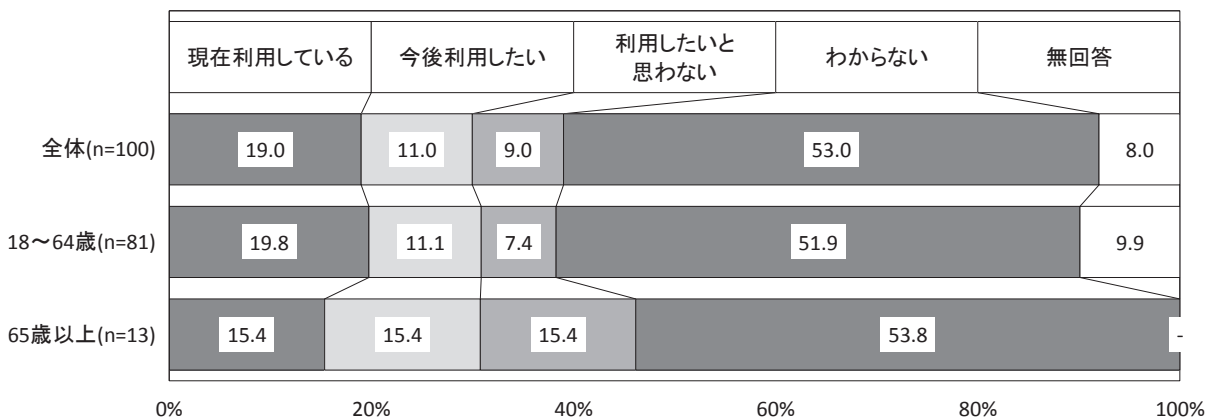
### 【難病患者】

年齢3区分別にみると、全体とほぼ同様の傾向を示している。



### 【施設入所者】

年齢別にみると、全体とほぼ同様の傾向を示している。





### ③ 成年後見制度を利用しない（したくない）理由（複数回答）

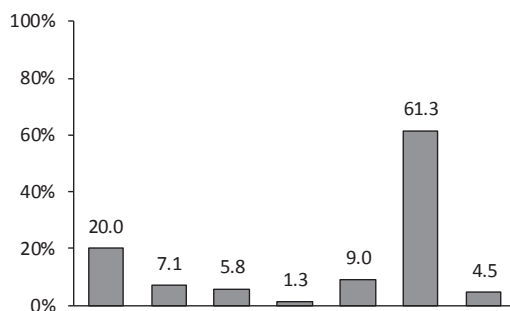
成年後見制度の利用意向で“利用したいと思わない”と回答した人の成年後見制度を利用しない（したくない）理由は、施設入所者を除いて「必要がない」が5割～6割を占めている中で、身体障害者、精神障害者、難病患者では「制度のしくみがよくわからない」（それぞれ20.0%、27.7%、20.0%）、知的障害者、施設入所者では「費用負担が大きい」（それぞれ21.4%、33.3%）が最も多い。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=155)	知的障害者 (n=28)	精神障害者 (n=148)	難病患者 (n=135)	施設入所者 (n=9)
手続きが複雑である	7.1 (3位)	10.7	10.1 (3位)	8.9 (3位)	11.1
費用負担が大きい	5.8	21.4 (2位)	5.4	6.7	33.3 (1位)
後見人が選任されるまでに時間がかかる	1.3	10.7	3.4	4.4	11.1
制度のしくみがよくわからない	20.0 (2位)	17.9 (3位)	27.7 (2位)	20.0 (2位)	22.2 (3位)
その他	9.0	10.7	10.1	6.7	22.2
必要がない	61.3 (1位)	50.0 (1位)	54.7 (1位)	65.9 (1位)	33.3 (1位)
無回答	4.5	10.7	2.7	3.7	11.1

※ベース：成年後見制度の利用意向なし

### 【身体障害者】

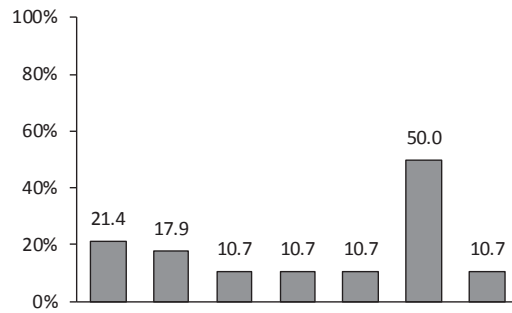


【障害の程度別】	n	4	1	2	3	5	6	7
		ら制度のしくみがよくわからない	手続きが複雑である	費用負担が大きい	に後見人が選任されるまでに時間がかかる	その他	必要がない	無回答
0 全体	155	20.0	7.1	5.8	1.3	9.0	61.3	4.5
1 0～17歳	23	21.7	4.3	4.3	-	13.0	65.2	-
2 18～64歳	63	19.0	9.5	4.8	1.6	9.5	60.3	6.3
3 65歳以上	66	19.7	6.1	7.6	1.5	7.6	60.6	4.5

※ベース：成年後見制度の利用意向なし

【知的障害者】

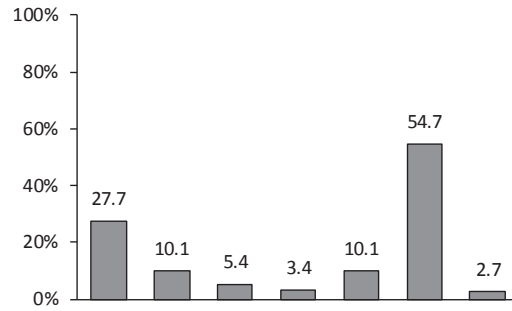
成年後見制度を利用しない理由



【障害の程度別】	n	2	4	1	3	5	6	7
		費用負担が大きい	制度のしくみがよくわか	手続きがむずかしい	後見人が選ばれるまでに時間がかかる	その他	必要がない	無回答
0 全体	28	21.4	17.9	10.7	10.7	10.7	50.0	10.7
1 0～17歳	3	66.7	-	-	33.3	-	33.3	-
2 18～64歳	15	26.7	20.0	20.0	13.3	20.0	40.0	6.7
3 65歳以上	9	-	22.2	-	-	-	77.8	11.1

※ベース：成年後見制度の利用意向なし

【精神障害者】

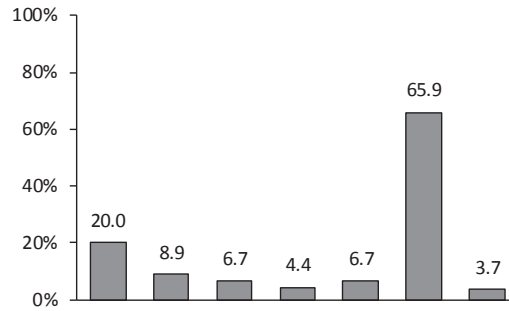


【診断名別】	n	4	1	2	3	5	6	7
		制度のしくみがよくわか	手続きが複雑である	費用負担が大きい	後見人が選ばれるまでに時間がかかる	その他	必要がない	無回答
0 全体	148	27.7	10.1	5.4	3.4	10.1	54.7	2.7
1 0～17歳	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0
2 18～64歳	113	27.4	8.8	2.7	3.5	8.8	59.3	1.8
3 65歳以上	30	26.7	16.7	16.7	3.3	16.7	40.0	3.3

※ベース：成年後見制度の利用意向なし

【難病患者】

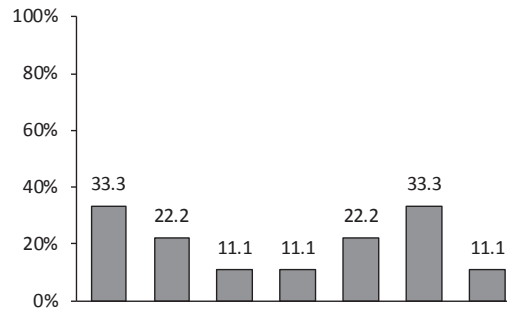
成年後見制度を利用しない理由



【疾病系統別】	n	4	1	2	3	5	6	7
		ら制度が複雑でよくわからない	手続きが複雑である	費用負担が大きい	に後見人が選ばれるまで	その他	必要がない	無回答
0 全体	135	20.0	8.9	6.7	4.4	6.7	65.9	3.7
1 18～64歳	84	21.4	10.7	6.0	6.0	4.8	70.2	1.2
2 65歳以上	48	18.8	6.3	8.3	2.1	10.4	60.4	4.2

※ベース：成年後見制度の利用意向なし

【施設入所者】



【疾病系統別】	n	2	4	1	3	5	6	7
		費用負担が大きい	ら制度が複雑でよくわからない	手続きがむずかしい	時間がかかると見られるまで	その他	必要がない	無回答
0 全体	9	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2	33.3	11.1
1 18～64歳	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	-
2 65歳以上	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0

※ベース：成年後見制度の利用意向なし